

第50回 日本フィル 夏休みコンサート2024



好評
発売中!

【料金】全席指定・消費税込

S席 子供 3,400円 / 大人 5,600円
A席 子供 2,700円 / 大人 4,600円
B席 子供 2,000円 / 大人 3,600円

※ 子供 = 4歳~高校生

※ 4歳未満は入場できません。

チケットはお一人一枚ご用意ください。

★演奏時間は休憩を含めて約1時間50分です。

～プログラム～

第1部

夏休みコンサート50回記念

♪信長貴富:《音楽のとびら》

～管弦楽のためのファンファーレ～

♪アンダーソン: 舞踏会の美女

♪エルガー: 愛のあいさつ

♪ホルスト: 《惑星》より木星
(夏休みコンサート版)

第2部

—— バレエ (7/19~31) ——

♪チャイコフスキー: バレエ《くるみ割り人形》
(夏休みコンサート2024版)

—— わくわくピアノ (8/2~6) ——

♪バッハ: メヌエット

♪ショパン: 幻想即興曲

♪ドビュッシ: 《ゴリウオーグのケーキウォーク》
「子供の領分」より

♪ガーシュウィン: ラブソディ・イン・ブルー

第3部

♪さんぽ ♪ふるさと ♪勇気 100%

第2部 バレエ

指揮: 梅田俊明 / お話とうた: 江原陽子

バレエ: スターダンサーズ・バレエ団 / バレエ演出・振付: 鈴木稔

7月19日 金 14:00 相模女子大学グリーンホール

7月20日 土 13:00 & 17:00 東京芸術劇場

7月21日 日 13:00 & 16:30 サントリーホール **完売**

7月25日 木 14:00 松戸・森のホール 21

7月27日 土 13:00 & 16:30 ソニックシティ (大宮)

7月28日 日 13:00 & 16:30 横浜みなとみらいホール

7月30日 火 14:00 ウェスタ川越大ホール

7月31日 水 14:00 江戸川区総合文化センター

第2部 ピアノ

指揮: 永峰大輔 / お話とうた: 江原陽子 / ピアノ: 上原彩子

8月 2日 金 13:00 & 16:30 サントリーホール

8月 3日 土 13:00 & 16:30 横浜みなとみらいホール

8月 6日 火 13:00 & 17:00 東京芸術劇場

【お申し込み】日本フィル・サービスセンター

☎ 03-5378-5911 (平日 10時~17時)

eチケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>



人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。

JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA

—— 創立指揮者 渡邊 暁雄 ——

日本フィルハーモニー交響楽団
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第399回

横浜定期演奏会

399th YOKOHAMA Subscription Concert

2024年 7月7日(日) 午後5時開演

横浜みなとみらいホール

5:00pm July 7th(Sun.), 2024, at Yokohama Minato Mirai Hall



主催: 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援: 神奈川新聞社、TBS

協力: 横浜みなとみらいホール

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



文化庁

日本フィルハーモニー交響楽団 横浜定期演奏会

2024 横浜みなとみらいホール
2025 毎月土曜日 17:00 開演



●秋季

第400回 2024年9月21日(土)

指揮:カーチュン・ウォン [首席指揮者]
ピアノ:ゲルハルト・オピッツ
ブラームス:ピアノ協奏曲第2番
チャイコフスキー:交響曲第4番

第401回 2024年10月5日(土)

指揮:出口大地
チェロ:鳥羽咲音
ハチャトゥリアン:バレエ音楽《スパルタクス》より
「スパルタクスとフリーギアのアダージョ」
カバレフスキー:組曲《道化師》
チャイコフスキー:ロココ風の主題による変奏曲
ムソルグスキー(ラヴェル編曲):組曲《展覧会の絵》

第402回 2024年11月23日(土)

指揮:ピエタリ・インキネン
ヴァイオリン:神尾真由子
グラズノフ:ヴァイオリン協奏曲
R. シュトラウス:アルプス交響曲

第403回 2024年12月21日(土)

指揮:下野竜也
ソプラノ:富平安希子 メソソプラノ:小泉詠子
テノール:糸賀修平 バリトン:宮本益光
合唱:東京音楽大学
ニコライ:歌劇《ウインザーの陽気な女房たち》序曲
ベートーヴェン:交響曲第9番《合唱》

第404回 2025年1月25日(土)

指揮:藤岡幸夫
フルート:Cocomi
武満徹:組曲《波の盆》
モーツァルト:フルート協奏曲第2番
ルグラン:交響組曲《シェルブールの雨傘》

【お申込み】日本フィル・サービスセンター
TEL:03-5378-5911(平日10~17時)
日本フィル・eチケット
<https://eticket.japanphil.or.jp>

●春季

第405回 2025年3月22日(土)

指揮:小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]
ヴァイオリン:中野りな
チャイコフスキー:ヴァイオリン協奏曲
リムスキー=コルサコフ:交響組曲《シェエラザード》

第406回 2025年4月19日(土)

指揮・ピアノ:横山幸雄
ショパン:ポーランドの歌による幻想曲
ショパン:演奏会用ロンド《クラコヴィアク》
ショパン:ピアノ協奏曲第1番

第407回 2025年5月31日(土)

指揮:ガボール・タカーチ=ナジ
ピアノ:三浦謙司
シューベルト:交響曲第7番《未完成》
モーツァルト:ピアノ協奏曲第21番
コダーイ:組曲《ハーリ・ヤーノシュ》

第408回 2025年6月14日(土)

指揮:小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]
ヴァイオリン:千葉清加 [アシスタント・コンサートマスター]
モーツァルト:ヴァイオリン協奏曲第3番
マーラー:交響曲第1番《巨人》

第409回 2025年7月5日(土)

指揮:原田慶太楼
ピアノ:阪田知樹
ラフマニノフ:ヴォカリーズ(管弦楽版)
ラフマニノフ:バガニーニの主題による狂詩曲
ラフマニノフ:交響曲第2番

年間定期会員券(全10回) 好評発売中

S席 ¥54,000 A席 ¥42,000 B席 ¥36,000
C席 ¥32,000 P席 ¥27,900(12月を除く全9回)
Ys席(25歳以下) ¥15,000

秋季定期会員券(全5回) 好評発売中

S席 ¥29,000 A席 ¥23,000 B席 ¥20,000
C席 ¥18,000 P席 ¥12,700(12月を除く全4回)
Ys席(25歳以下) ¥9,000

サクソとオーケストラが激しく踊り舞う —注目のアーティストの競演

指揮者にとどまらずマルチに大活躍を展開する鈴木優人と、サクソフォン界のスーパー・エクスプレス上野耕平の刺激的なコラボレーションです。

前半は、サクソの美しい音色と鮮やかな機動性を楽しめる作品の数々をたっぷりお楽しみいただきます。"リベルタンゴ"では思わず足がビートを刻みそう!

後半は、"ロックなベートーヴェン"全開の、パワフルなビートに胸躍る交響曲第7番です。サクソとオーケストラのアグレッシブな共演をお楽しみください。

Programs

トマジ:

バラード サクソフォンと管弦楽のための* (約15分)

Henri TOMASI: Ballade for Saxophone and Orchestra

ピアソラ(啼鵬編曲):

《エスクアロ(鮫)》* / 《オブリビオン(忘却)》* /

《リベルタンゴ》* (約15分)

Astor PIAZZOLLA (Arr. by Teiho): "Escualo", "Oblivion", "Libertango"

—— 休憩(15分) Intermission ——

ベートーヴェン:

交響曲第7番 イ長調 op.92 (約36分)

Ludwig van BEETHOVEN: Symphony No.7 in A-major, op.92

指揮:鈴木優人 Conductor: SUZUKI Masato

サクソフォン:上野耕平 Saxophone: UENO Kohei

コンサートマスター:扇谷泰朋 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ:門脇大樹 [日本フィル・ソロ・チェロ]

Solo Violoncello: KADOWAKI Hiroki, JPO Solo Violoncello

定期会員券は
最大42%OFF!
同月内の東京定期演奏会
への振替が可能です!

©Marco Borggreve



指揮：鈴木優人

東京藝術大学卒業及び同大学院修了。オランダ・ハーグ王立音楽院修了。令和2年度(第71回)芸術選奨文部科学大臣新人賞、第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第18回ホテルオークラ音楽賞、第29回(2021年度)渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)首席指揮者、読売日本交響楽団指揮者/クリエティヴ・パートナー、アンサンブル・ジェネシス音楽監督。2023年4月より関西フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者に就任。指揮者としてNHK交響楽団、読売日本交響楽団等と共演するほか、22年4月にはドイツ・ハンブルク交響楽団に客演。鈴木優人プロデュース・BCJオペラシリーズにおけるモンテヴェルディ：歌劇《ポッペアの戴冠》(2017)、ヘンデル：歌劇《リナルド》(2020/第19回佐川吉男音楽賞受賞)、歌劇《ジュリオ・チェーザレ》(2023)では、バロック・オペラの新機軸を打ち出した。2022年5月のグルック：歌劇《オルフェオとエウリディーチェ》(勅使川原三郎新演出)で新国立劇場に指揮者として初登場。24年2月にはORCHARD PRODUCE 2024にて鈴木優人&バッハ・コレギウム・ジャパン×千住博 モーツァルト《魔笛》を上演。モーツァルト・オペラの上演に新風を巻き起こした。NHK-FM「古楽の楽しみ」にレギュラー出演するほか、テレビ朝日系列「題名のない音楽会」などメディア出演も多い。録音はBCJとのJ.S. バッハのチェンバロ協奏曲集(BIS)、タメスティとのデュオ(Harmonia Mundi)の他、今年3月にはJ.S. バッハの平均律第1巻(BIS)をリリース。調布国際音楽祭エグゼクティブ・プロデューサー。作曲、編曲はもとより、バッハの消失楽章の復元も多数手がける。ブルーノート東京にも定期的に出演するなど、その活動に垣根はなく、各方面から大きな期待が寄せられている。九州大学客員教授。

Twitter / @ eugenesuzuki
Facebook & Instagram / masatosuzukimusic



今日のコンサートの聴きどころは？

多彩な活動を展開する期待の若手
布施砂丘彦さんの解説をお楽しみください。

16時20分
より
大ホール内
にて♪

布施砂丘彦(ふせ さくひこ)

東京芸術大学卒業。コントラバスおよびヴィオローネ奏者、批評家、音楽プロデューサー。2020年9月に時評「音楽の態度」で第7回柴田南雄音楽評論賞奨励賞を受賞して批評家デビュー。朝日新聞の連載「for your Collection クラシック音楽」をはじめとして、雑誌やウェブメディアなどさまざまな媒体に寄稿。2023年から「箕面おんがく批評塾」(箕面市メイプル文化財団主催)塾長。



サクソフォン：上野耕平

茨城県東海村出身。8歳から吹奏楽部でサクソスを始め、東京藝術大学器楽科を卒業。

これまで須川展也、鶴飼奈民、原博巳の各氏に師事。第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門において、史上最年少で第1位ならびに特別大賞を受賞。2014年11月、第6回アドルフ・サクソ国際コンクールにおいて、第2位を受賞。現地メディアを通じて日本でもそのニュースが話題になる。また、スコットランドにて行われた第16

回世界サクソフォンコンGRESSでは、ソリストとして出場し、世界の大御所たちから大喝采を浴びた。2015年9月の日本フィルハーモニー交響楽団定期公演に指揮者の山田和樹氏により大抜擢。この公演は、クラシックサクソフォンの可能性が最大限に引き出され、好評を博す。

デビュー以来、常に新たなプログラムにも挑戦し、サクソフォンの可能性を最大限に伝えている。

2017年度第28回出光音楽賞受賞。2018年第9回岩谷時子賞 奨励賞受賞。現在、国内若手アーティストの中でもトップの位置をしめ、ソリストとしてNHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団他、国内のほとんどのオーケストラと共演。

CDデビューは2014年「アドルフに告ぐ」。そして、2015年には「ばんだウインドオーケストラ」、2017年には「The Rev Saxophone Quartet」としてもCDをリリース。最新作は5枚目のソロアルバム「Eau Rouge」(23年9月発売)。

Official website: <http://uenokohei.com>

【使用楽器】

楽器：YAMAHA YSS-875EXG、YAS-875EXG、YTS-875EXG

マウスピース：SELMER S90 180

リガチャー：HARRISON 復刻 GP / リード：VANDOREN TRADITIONAL3.5



← YouTube チャンネル

【5分でわかる大人のためのオーケストラ入門】
7月配信よりリニューアル!

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。ご要望の方は主催受付までお申し出ください。

お客様へのお願い ●演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。手荷物、傘、チャリン類などの物音、話し声や体の動きなどで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

トマジ：バラード サクソフォンと管弦楽のための

アンリ・トマジ (1901-71) は、フランスで活躍した作曲家であり指揮者。彼の若き日に全盛だった、明晰さや簡明さを旨とする「新古典主義」の影響を受けながらも、故郷のプロヴァンス地方をはじめとする地中海、また指揮者として赴任したフランス領インドシナ等にゆかりの民族音楽、さらにはジャズ等をも採り入れ、単なる「クラシック音楽」の枠組みの中にとどまらない、独自の作風を作り上げた。クラシックの世界以上にジャズの世界で積極的に用いられていたサクソフォンに注目し、当作品をはじめこの楽器をフィーチャーした幾つかの作品を書いたのも、その表れに他ならない。

『バラード』は、第二次世界大戦前夜の1938年の作品。妻の作った詩を基としており、そこには憂鬱や屈折を抱えながらも、それでも客を笑わせざるを得ないピエロの葛藤が、サクソフォン協奏曲のスタイルで描かれてゆく。「アンダンティーノ（「少しだけ前進して」という意味）」「ジグ（イギリスやスコットランド発祥でフランスの宮廷でも大流行した、2拍子を基本とした舞踊）」「ブルース」の3つの部分から成る、演奏時間15分ほどの曲である。

楽器編成 独奏サクソフォン、フルート2（ピッコロ持替1）、オーボエ1、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、トロンボーン2、ハープ1、ティンパニ1、小太鼓、シンバル、トライアングル、ウッドブロック、グロッケンシュピール、弦楽5部。

ピアソラ（啼鵬編曲）：

《エスクアロ（鮫）》／《オブリビオン（忘却）》／《リベルタンゴ》

イタリア移民の家族、アルゼンチンのブエノスアイレスに生まれるものの、幼少期にアメリカのニューヨークに渡り…。アストル・ピアソラ (1921-92) は、このような文化的多様性の中で生まれ育っている。ただだからこそ彼は、タンゴからクラシックに至るまで、幅広いジャンルを貪欲なまでに吸収し、例えばトマジ以上に、自らにしかできない音楽のスタイル、さらには音楽のジャンルを確立していった。しかもそんな彼が、自らの率いるタンゴアンサンブルをはじめ様々な編成のために書いた小品を、本日の演奏会では、自らマルチプレイヤーとして活躍するとともに作曲・編曲にも腕を振るう啼鵬のアレンジを通じ、サクソフォンとオーケストラの共演によるバージョンでお楽しみいただく、というさらなる趣向まで用意されている。

『エスクアロ（鮫）』は1979年の作品。アルゼンチンではポピュラーな小型の鮫釣りに着想を得たもので、手に汗握る釣りの現場のスリルが曲のそこかしこに滲み出ている。元々はピアソラ五重奏団のヴァイオリン奏者の独奏を念頭に書かれたタンゴ調の曲だが、もはや踊るためではなく、いわば「聴くタンゴ」といった内容になっている。『オブリビオン（忘却）』は、元々は1984年に公開された映画『エンリコ4世』のために書かれた映画音楽の1つ。映画そのものはヒットしなかったが、この曲にフランス語の歌詞を付けて歌われるようになったことをき

かけに一躍有名になった。『リベルタンゴ』は、1974年の作品。当時、故郷アルゼンチンの反動的政治に嫌気がさしていた彼はイタリアを拠点としており、その中で「リベルタ（自由）」と「タンゴ」を組み合わせ、ピアソラの代名詞ともいえるこの作品が生まれた。

楽器編成 独奏サクソフォン、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ハープ1、ティンパニ1、弦楽5部。

ベートーヴェン：交響曲第7番 イ長調 op.92

1811年から12年にかけて作られ、1813年に初演された、ベートーヴェンの代表的な1曲だ。

1812年といえば、ナポレオン (1769-1821) 率いるフランス軍がロシア戦線で敗北を喫し、その後の失脚へつながる事件が起きた年。ベートーヴェンはナポレオンに対し、フランス革命の体現者として一時は熱狂するものの、ヨーロッパ各地に戦火をもたらす侵略行為が明らかになるに連れ、徐々に距離を置き始めた。

『交響曲第7番』は、ナポレオン相手の戦闘で傷ついた兵士を援助するべく…さらに彼の度重なる敗北を祝うべく、ウィーンでおこなわれた慈善演奏会で初演された。となると、この曲に漲る爆発的な喜びもよく分かる。19世紀半ばに活躍し、ベートーヴェンを敬愛したワーグナー (1813-83) は、当作品を「舞踏の聖化」と呼んだほど。（またそうした意味でこの交響曲は、ピアソラの『リベルタンゴ』の精神を、1世紀以上も前に先取りした作品ともいえる。）

たしかにワーグナーの指摘の通り、各楽章がダンス音楽のリズムに貫かれている。しかも、ベートーヴェンを…さらには一過性ではあったもののナポレオンを崇拜した、新興階級の市民たちが熱中しそうなダンスばかりだ。

第1楽章は「タータタ」というリズムが中心となっており、これは後にトマジの『バラード』でも用いられることとなる「ジグ」に基づいたもの。第3楽章は荒ぶる庶民の踊りである急速な3拍子のスケルツォ、第4楽章は市民階級に人気を博したコントルダンス（元々は「カントリーダンス」）が基となっている。

しかも、これらの熱狂的で輝かしい楽章の最中に、悲痛さや厳粛さを湛えた第2楽章が置かれているのが、ベートーヴェンのベートーヴェンたる所以である。何しろ「タータターター」というリズムは、伝統的舞踊の1つである「荘重なアルマンド」に欠かせないもの。しかもこのアルマンドは、故人を偲ぶ音楽作品としてバロック時代に流行した「トンボー」（フランス語で墓碑銘という意味）に採り入れられることも多かった。

激しく交差する光と影。そこには、ナポレオンをめぐる激動の時代が大きく影響している。

楽器編成 フルード2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、トランペット2、ティンパニ1、弦楽5部。



歴史でひもとく! ~クラシックこぼれ話 by 小宮正安

音楽、文学、道化師...



トマジの活躍したフランスの音楽界では、19世紀末以降、音楽と文学を融合させる試みが幾度となくおこなわれてきた。典型的な例がドビュッシー。彼は同時代の前衛的な詩人、例えばマラルメやヴェルレーヌと言った人々の作品（中には道化師をテーマにしたものも少なくない）からインスピレーションを得て、それを自らの作品の中へと反映されてゆく。

しかもそれは、単に音楽の内容を充実させるといっただけにとどまらなかった。19世紀の市民社会が、未曾有の経済成長を遂げる一方、その陰で公害や恐慌、格差といった今日の世界にも通じるような問題を抱えてゆく中で、音楽が音楽の世界だけに閉じこもってよいのかという問題意識が、若い世代を中心に生まれてゆく。結果、たとえば文学と積極的に結び合うことで、旧来的な価値観を超えた新たな音楽のあり方を目指そうとする動きがみられるようになった。（いっぽう文学においても、同じような状況が見られた。）

そんな、「音楽」と「文学」の融合を、創作活動の上でも私生活の上でも成し遂げたのが、トマジ夫妻ではなかったか。トマジの妻は、スザンヌ・マラル。20世紀に活躍したフランスの詩人の1人である。そして彼女が書いた詩の1つこそが、トマジの『バラード』が生まれるきっかけとなった。じっさい『バラード』の楽譜の冒頭には「要旨」と題され、以下のような詩が掲載されている。

長く か細く 物静かな古の英国のメロディに乗せて
まさにその男のように
とある道化師が 憂鬱な話を語る
夜の直中に。
彼の運命の影 それは川岸のように
曲がりくねり
古い冗談が口をついて出た時の吸い殻の味が
彼を狂わせる。
だぶだぶの衣装と平板な肉体から逃げるがいい
そこには何も無いのだから
喜びと痛みの間に宙つりにされるサクソフォン
その戸惑いときたら!
その響きの奥底で 彼の絶望は
ふと流れ去り
道化師はしづしづ 再び人々を笑わせる
公衆の面前に姿を晒して。



ドガ作「黄色いアルルカン」1884年頃
※アルルカンとは道化師の一形態

この詩を基に、サクソフォン独奏とオーケストラのための『バラード』が生まれた。音楽だけでなく、文学だけでもなく、その両者が結び合うことによって生まれる新時代の息吹…。第二次世界大戦前夜の息の詰まる時代を背景に、明るさの下に底知れない暗さを湛えた道化師の変幻自在な不可思議を描いた作品が、ここに誕生した。

Next YOKOHAMA

400回記念イベント開催予定!

第400回 横浜定期演奏会

2024年9月21日(土) 17:00
横浜みなとみらいホール

指揮: カーチュン・ウォン [首席指揮者]

ピアノ: ゲルハルト・オピッツ

プログラム:

ピアノ協奏曲第2番 変口長調 op.83

チャイコフスキー:

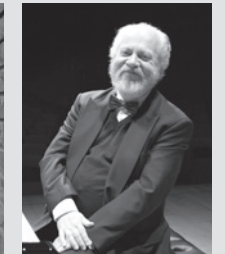
交響曲第4番 へ短調 op.36

©Ayane Sato



カーチュン・ウォン

©HT/PCM



ゲルハルト・オピッツ

16:20 ~
八木宏之氏による
オーケストラガイド♪

S ¥9,000 A ¥7,500 B ¥6,500 C ¥5,500 P ¥5,000 Ys ¥2,000
※ Ys: 25歳以下の方が対象のお席です。S席以外から選べます。

コバケン・ワールド セット券 (3公演)

S ¥13,900 A ¥10,800 B ¥8,700
※ P・Gs セットは完売しました



コバケン・ワールド Vol.37

2024年9月29日(日)
14:00

昭和女子大学
人見記念講堂
ヴァイオリン:
高木凜々子*



スッペ: 喜劇《軽騎兵》序曲
エルガー: 愛の挨拶*
サラサーテ:
ツィゴイネルワイゼン*
サラサーテ: カルメン幻想曲*
ベートーヴェン:
交響曲第5番《運命》

コバケン・ワールド Vol.38

2025年1月12日(日)
14:00

サントリーホール
ヴァイオリン:
田野倉雅秋



J. シュトラウスII世:
ワルツ《美しく青きドナウ》
メンデルスゾーン:
ヴァイオリン協奏曲
ドヴォルジャーク:
交響曲第9番《新世界より》

コバケン・ワールド Vol.39

2025年3月23日(日)
14:00

サントリーホール
ピアノ:
小林亜矢乃



モーツァルト:
ピアノ協奏曲第20番
リムスキー=コルサコフ:
交響組曲《シェエラザード》

■ 次回の横浜定期演奏会は「第400回」記念!

これまでの演奏会記録の配布や、終演後の記念パーティー開催を予定しております。奮ってご参加ください!

■ 広上淳一&日本フィル「オペラの旅」Vol.1《仮面舞踏会》詳細決定

特別公演 ヴェルディ:オペラ《仮面舞踏会》(セミ・ステージ形式/全3幕/字幕つき)

2025年4月26日(土)17:00 / 27日(日)17:00 サントリーホール

指揮:広上淳一 [フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)] 演出:高島 勲

アメリア:中村恵理 リカルド:宮里直樹 レナート:池内 響 他



SS ¥12,000 S ¥9,500 A ¥8,000 B ¥6,500 C ¥5,000 D ¥3,000 ※一部見切れあり/電話のみ Ys (25歳以下) ¥4,000* Gs (70歳以上) ¥5,000* *SS,S,D除く

■ 訃報

日本フィルハーモニー交響楽団名誉指揮者のジェームズ・ロッホラン氏が6月19日に逝去されました。92歳でした。マエストロに改めて深い感謝をささげるとともに、ここに謹んで哀悼の意を表します。



■ 落合陽一×日本フィルプロジェクト クラウドファンディングのお願い

8月20日開催の落合陽一×日本フィルプロジェクトでは「音楽の喜びあい」を支援して下さるサポーターも募集しています。実施への思いなどはサイトから。

URL <https://readyfor.jp/projects/vol8> 期間 8月27日(火) 23:00まで



■ 本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です。

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

横浜定期恒例の シーズンファイナルパーティー 開催! 終演後1階客席ホワイエにて 出演者のトーク、楽員による演奏をお楽しみいただけます。奮ってご参加ください。 参加費 無料 ※ドリンクの提供は見合わせます。

◆ 定期会員券ご寄付のお願い ◆

お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

【 寄付の方法 】

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

- 公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。●会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願いいたします。●ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。6月の寄付者 匿名4名 心より御礼申し上げます。

敬称略・五十音順

日本フィル・サービスセンター 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1

TEL: 03-5378-5911 (平日10時~17時) FAX: 03-5378-6161 (24時間) e-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

横浜定期会員の特典

横浜ベイホテル東急(横浜みなとみらいホール向かい)にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食: 下記店舗で、飲食料金が10%OFFとなります。(4名様まで) ※除外日および対象外メニューあり

オールデイダイニング「カフェ トスカ」/ラウンジ「ソマーハウス」/日本料理「大志満」 中国料理「スーツァンレストラン陳」

※会計時に横浜定期会員券をご提示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。 ※指定以外の店舗、および宴会は対象外ですのでご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 (1956年6月創立)

- 創立指揮者/渡邊 曉雄 ●首席指揮者/カーチン・ウォン ●桂冠名誉指揮者/小林研一郎 ●桂冠指揮者兼芸術顧問/アレクサンドル・ラザレフ ●名誉指揮者/ルカーチ・エルヴィン ●フレンド・オブ・JPO (芸術顧問) /広上淳一 ●名誉指揮者/ジェームズ・ロッホラン ●客員首席指揮者/ネーメ・ヤルヴィ

公式X (元 Twitter) @Japanphil

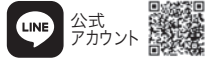


Table with 4 columns: 理事/副理事/専務/常務/後援, 名譽顧問, 団友, and other staff members.

(2024年7月1日現在)